

2024年12月19日 良好な環境創出シンポジウム

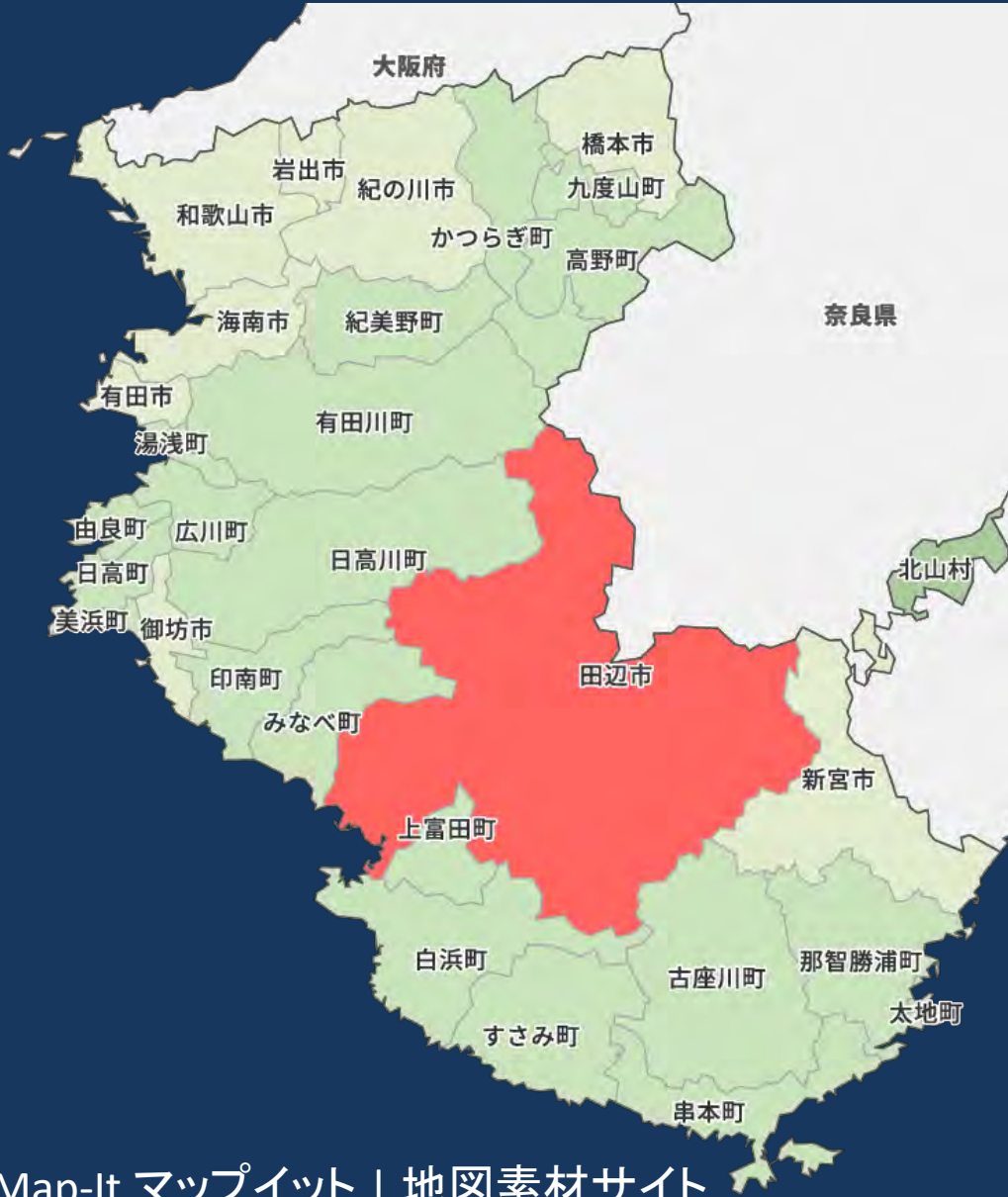
特産品であるヒロメに関する取組を 中心とした里海づくりの規模拡大



新庄漁業協同組合 理事 山西 秀明

田辺市について

人口: 67,443人
面積: 1,026.91km²



ウメ



ミカン

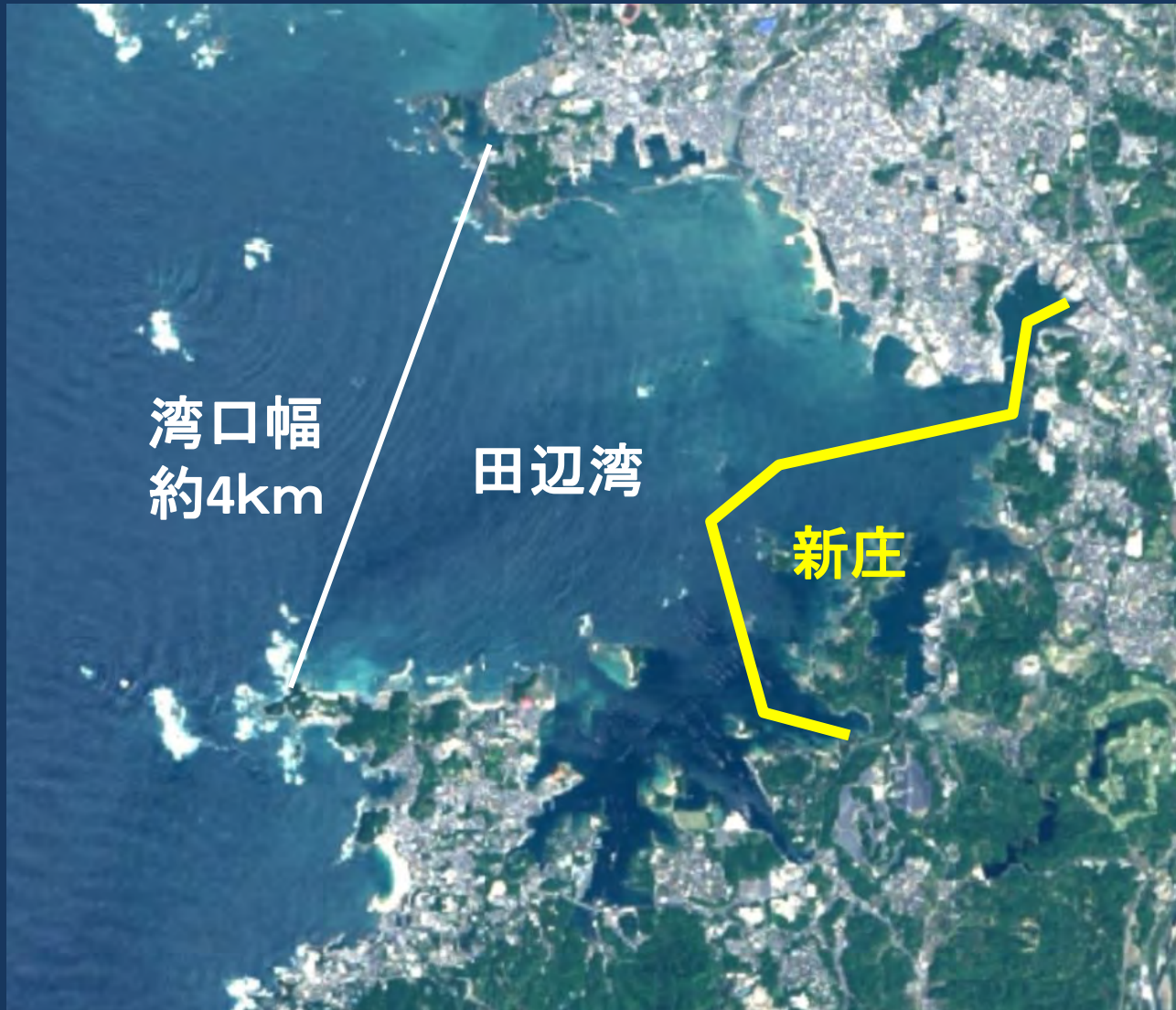


紀州備長炭



世界文化遺産
「紀伊半島の霊場と参詣道」
熊野古道

田辺湾について



地理院地図より

吉野熊野国立公園



環境GISより(生物多様性センター)

田辺湾内一帯の海岸線は、岩礁、転石、砂浜、干潟と多様な基質を備え、更に外海から内湾奥部までの地形上多様な海岸線を成すことで、多様な海岸生物種が見られる。

南紀白浜～南紀田辺の海岸線は、干潟、藻場、サンゴ礁の湿地タイプを持つ国の重要湿地に選定されている。

(和歌山県RDBより)

新庄漁業協同組合について



田辺湾奥部に位置する
正組合員27名の小さな組合。
沖へ釣りに出る人もいるが、
大半は小規模な内湾の漁業や
カキやヒロメの養殖業など。



おいしいヒロメを広めたい！



ヒロメって？



田辺湾の特産品として重宝されている海藻で、食べ方はしゃぶしゃぶ、味噌汁、お寿司など。

ワカメとは近縁で、その分布は一般的に千葉県から九州にかけての太平洋沿岸とされています。

しかし、実際の生育場所は特定の湾など局所的で、養殖も行われていますが、近年は種苗生産の不振が続いています。

美味しい食べ方



「令和の里海づくり」モデル事業

沿岸の生態系にとって重要な藻場や干潟の保全・再生と、地域資源の利活用の好循環形成のモデルとなる取り組みを公募。

令和4年 ヒロメ養殖の安定化と天然藻場の保全。
商品開発により市場の拡大を目指す。
体験プログラムにより海や藻場への関心を高める。



カヤックでの収穫体験



高校生と商品開発



海藻押し葉アート

しかし、ヒロメの期間は短い

2月中旬

3月

4月上旬



令和5年度 「里海」 としての取り組み拡大を目指し ヒロメ以外の価値にも注目

① ヒロメ養殖 の拡大

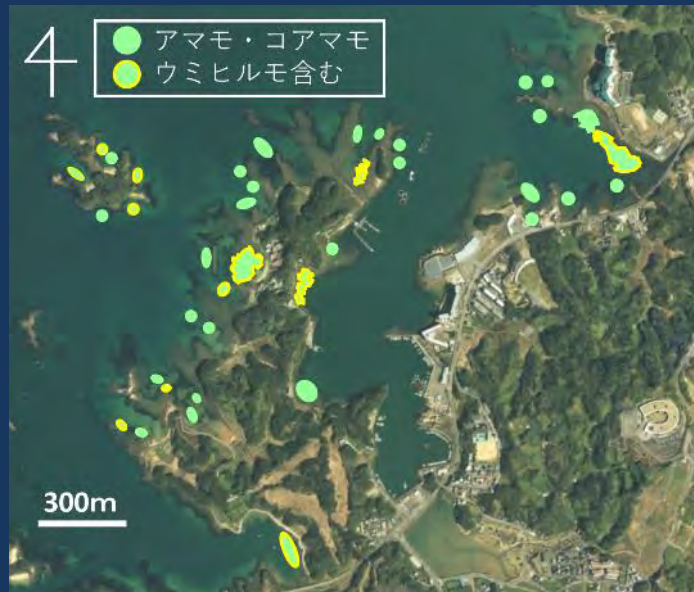
- ・生産量の増加
- ・藻場の現状把握
→ブルーカーボン
企業の協賛



ウニの増加に
よる磯焼け
地点の把握

② 自然資源の調査

- ・海草藻類
- ・底生動物
- 自然共生サイトの
認定に向けて



令和5年度 「令和の里海づくり」モデル事業 取り組み

③エコツアー の開発

- ・自然観察
- ・漁業体験
- ・保全活動の体験



④里海づくりのPR

- ・シンポジウムや講座
- ・ハンドブックの作成
- 取組み紹介
- マップ
- 生き物図鑑 など



その後の里海の取り組み

トヨフジ海運株式会社様

新庄漁協の「**里海づくり**」について
海の生態系の保全・再生に関わる
ご支援を頂きました。
自然共生サイトの認定や、ブルー
カーボンの創出を目指しています。



社内でヒロメの種苗生産



ヒジキ藻場のウニ駆除



ヒロメ母藻の投入



アマモ場造成地点の
選定

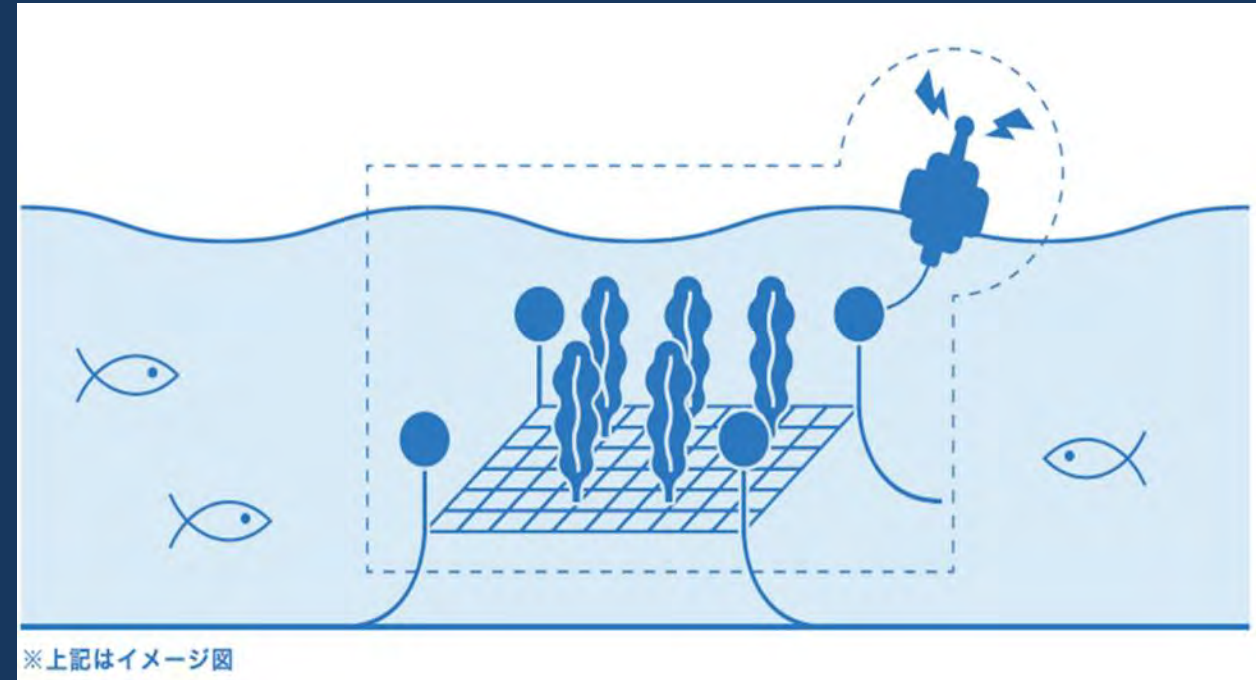


和歌山高専楠部研究室の
学生たちとアマモの移植

その後の里海の取り組み

富士通株式会社様のスピンアウト企業
BLUABLE（ブルアブル）様

ヒロメを用いた
ブルーカーボンの創出や
ICTブイによるモニタリング。
藻場造成キットの
実証実験を来月より実施予定。



藻場造成キットのイメージ図

自然共生サイト 2024年後期 申請中

「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域のことです。

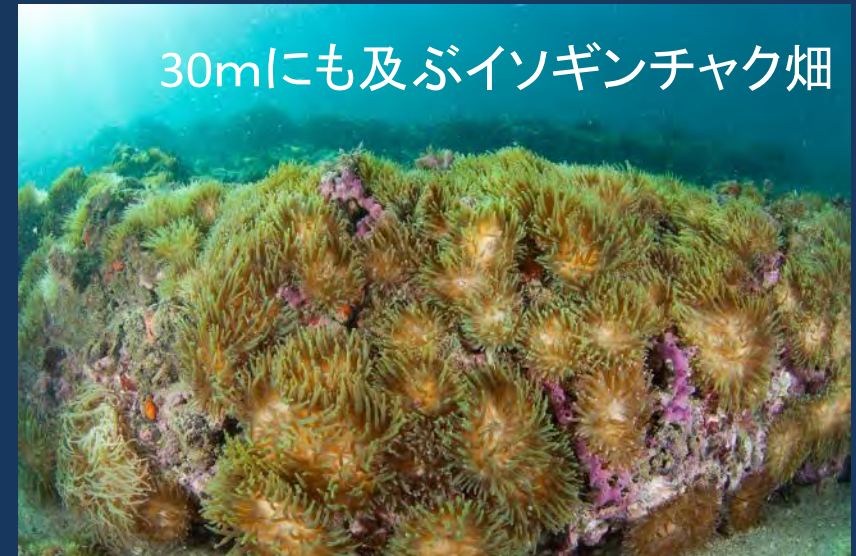
認定によって
あまり知られていない新庄の海の豊かさと、
長年取り組んできた保全活動→**里海づくり**
これらを客観的に証明し、価値を高める。

地域内外の人達に**知って**関わってもらおう。
「美味しい」「楽しい」「皆で守る」

→地域内外から海に関わりたい人や
企業の参画を募る。
企業研修プログラムの造成にも着手。



コゲツノブエ
絶滅危惧II類
(VU)



30mにも及ぶイソギンチャク畑